

2009.SEP

釣り人が創る逸品釣具 ぎあ・らぼ

お気楽Gear-labニュースレター第10号です。

Gear-Lab製品をご利用ありがとうございます。

おやじキャグって相変わらず若いもんからは無視されますねー。けっこう昔ですが30才の時、おニャン子クラブって可愛いよねーって言ってたら、おじん現象って言われました、今のニョウボに30才ですよー！

これも古い話なのですがV6っていましたよねー、まだいます？あれを知らずにブイロクと言ってたら家族全員から、しばらく無視されたのを忘れません。(T_T)

俺が何をしたっちゅうねん！！まるで犯罪者扱いですよ、今だに芸能界の話は仲間に入れてもらえません。そんな

な話を聞いても全く分かりませんが。でも「無視するなー！」って小声で言いたいです。(～;)でも気をつけましょうー！おじん現象には、クワバラ、クワバラ……。

ただ、アメリカ人は違いました。面白くないジョークに対しては、その雰囲気をもっと盛り上げていこうと努力してくれます。テレビ観てもそうですし、講演会でもお客が盛り上げていこうという雰囲気があるんです。

なんかそういうところは大人を感じます。さてと今日もGear-Labはオジギャグを飛ばしながら突き進みますよ～。(^-^)/ くわばらくわばら。



Gear-Labができるまで。泣いた。笑った。感動した。(その8)

ヨット仲間と作り始めた「ラジコンフィッシングボート」はまさに遊びの延長の仕事でした。シーバス釣りを毎日のようにするヨット製作の友達がヨットハーバーに浮かぶヨット廻りをラジコンボートに竿を付けてルアーを引いたのが始まりです。

ルアーには60cmのフック(シーバス)がヒットしたかと思うと一気に船が転覆してブクブクと沈んでしまったんです。「あ～あ」まわりの人たちも「あ～あ」「あ～あ」と言うばかりで当の本人は相当悔しがってました。翌日またボート修理場でラジコンボートを造ってたのですが、改造に改造を繰り返して約10日間仕事もせずにそればかりを朝から晩まで作ってました。今度はいけるかもという期待と私たち船

に詳しい連中は「ありゃ、無理やで。」という厳しい評価の中、進水式で待ちきれずすぐに竿を付けてラジコンフィッシング。結果いろいろ問題点がでてきて最後にはシーバスにまたもや沈められるという結末となりました。

もうすでに2艇が撃沈したわけですが私たちはここからヨットにおけるいろいろな知識と技術を総動員させて3艇目のボートを造り始めました。

水密性、モーターの回転数を落としてトルクをアップする仕組み、そのモーターを外部海水で水冷にした新開発のデュラパワーシステム、プロペラシャフトから水が入らない特殊なスタンチューブの仕組み、船体はFRPで漁船のようなデッドライズ角度を深くしディーブVのハル、重心を下げたインナーバラスト、魚がヒットしたときにラインリリースが外れて一瞬の竿の反発力で合わせを入れるという仕組み。

<http://www.gear-lab.com/shp/fishingboat/>

ここに図面まで詳しくアップしており特許を3件出願しました。ヨット製造についてキャリアのある4人が結集してラジコンフィッシングボートを作り上げました。ヨットというのは機械も電気もケ

ミカルなどそして船そのものの知識がないと作ることはできません。ある意味でものづくりの総合力を必要とします。海にでて故障すればそれなりに帰ってくる自信も必要です。

そして何よりも遊び心が必要です。そのたくましさは自然と戯れながらも危険なことも背中合わせにある遊びとして真剣にならざるをえないときもあります。

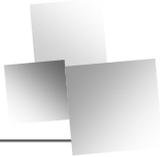
でもクルーザーヨットで海にでたらビールばかり飲んでいるダラーっとしているところも多々。(～;)海風と波の音を聞きながら飲むビールって今でも最高です。

遊びが基本ですので何でも作っちゃいますが、遊びの延長なのでとにかく良いものを作ろうとしてついつい高くなります。

さてTUG60と命名したラジコンフィッシングボートの3艇目は前回と違い皆の期待を視線をあびて進水式です。

ディーブキルの船形は静かな引き波をたてて力強く進み見ていて安心感があります。本格的にハルを型から起こしてFRPで作ったのでひいき目ですがカッコイイのです。思い通りにあちこちをまるで散歩しているワンちゃんのように、女性群からは「うぁ～可愛い～」という妙な評価をいただき何故か私たちが喜んでいるという単細胞ぶりです。(次ページに続く)

Gear-labは普通の釣具店にはない新しく夢のある逸品釣具を紹介し続けます。全国の熱い人たちと共に本当に良いものを世の中に出すことに真剣であり常識にとられない商品開発や逸品釣具を求める方とのみチームを組んでいきます。



つつき さてとルアーを投入しヨット廻りを細かくTUG60に引かせるといきなりヒット！60cmの竿が今にも折れそうになりながらうまくドラグをだしています。

私自身は初めて魚をヒットさせた瞬間です。プロポを持つ手が震えて止まりませんでした。なかなか良い感じで魚をジワジワと疲れさせています。「そうか！今TUG60はまるで大きなウキのような状態になってるよ。」と皆ほとんど同時に気づきました。だから大丈夫なんだと。約20分の操船を楽しみ魚はかなりパワーダウンしています。そこで船を寄せて竿を取り上げ約55cmのシーバスをゲット。

この釣りをしている間にもいろんな問題点がでてきて4艇目のTUG60製作となったのです。電波法ギリギリの飛行機に使う電波チャンネル、操船時間、特注ロッドリール、水密性は魚にアタックされるとかなり厳しい条件になります。それでも次の製作は暗黙の合意で開始されました。

次に作られたボートの形状は「オーシャンタグボート」のどっしりとした形状です。博多湾に浮かぶ水先案内人が大きなタンカーなどを先導するためのボートで赤いマストが目立つ重厚な船です。私たちはそれを見学しに行きスケッチを描きます。本当はカジキマグロなどを釣るアウトリガーロッドを装着しているカッコイイものにしたかったのですが80cm以上のランカーサイズをこのボートで釣ることが夢だったので自然この形になりました。あーでもないこーでもないといいながら最終的には排水量4.1kgのTUG60第4艇目が出来上がりました。ハル(船体)は本物の造船技術を持つ完全ハンドレイアップによるFRP工法で、ますます、頑丈になり衝撃に強い船体となりました。(続く)

「EZノッター」9月必ずリリース

ショックリーダーとPEラインを結ぶFGノット治具にどっぴり浸かってはや半年です。

やっとできました！Gear-Lab最大の商品が。

YouTubeのサイトで「EZノッター」と検索してみてください。

簡単なビデオ説明、そしてなんと女子高校生がFGノットをたった2分33秒で結ぶというタイムトライアルのビデオもあります。今回のEZノッターはネットだけではなく一般釣具店にも9月15日以降に販売する予定ですのでどうぞ宜しくお願い申し上げます。

今はEZノッターで結んだラインのテストを繰り返しています。ここ数週間はノットテストでへろへろになっています。

世の中にはベテランフィッシャーマンがノット自慢を見せ合ってらっしゃいますが、その音頭をGear-Labが主催できたらと思っています。

ただ、このEZノッターはとにかく簡単に強度のあるノットが誰にでもできるというものですのでその点も強くうたっていくつもりです。とにかくEZノッターはできました。あとはパッケージを待つのみです。どうぞご期待ください。

インナーバラストを船底に置き、キャビン部は浮力体を持つ構造でどんなに大物がきてひっくり返されてもだるまさんみたいに起きて、ラダー(舵)も本格的な実装をしています。

これちょっと高いけど販売しようという話になり、毎日のようにミーティングを開き、福岡市ヨットハーバーでは、そんなお馬鹿な私たちが「これは仕事です」と真顔でラジコンボートを操舵していると地元テレビ局からお声がかかり早速テレビ出演です。数回のテレビ出演がありましたが釣れなかったときのビデオ準備など抜かりありません。>^_^<

そうこうしているうちに大阪府警(死体捜索用)や海上自衛隊(曳航模擬演習用)から特注のTUG60の注文が入り、ますます開発がヒートアップしていきます。これはスゴいことになるかもしれないと期待したのもつかのま、本来自分達が楽しむために作り始めた「健康的な遊び人」4人は、今度は潜水艦を作ることに専念しすぐに作ってしまいました。一番の問題点は水圧です。でも簡単にクリアしました。潜水艦の動力部に非伝導体の灯油を入れ込み水圧から簡単に守ることができました。この発案は電気を通さない灯油ならばおもちゃも動くかな？と思い子供の電池で動くミニ四駆を取り上げて灯油の中に入れてしっかりと動いてくれたのです。これは嬉しかったです。子供は泣いてましたが。(～;) この潜水艦に動くアームを取り付け水中カメラを搭載し港湾のゴミ拾いゲームをやるうというものまで作り遊びは続きます。そんなとき@nifty釣りフォーラムの山出氏より電話をいただいたのです。「なんか楽しんでらっしゃいますね。釣りフォーラムと一緒に普通の釣具店にはない逸品釣具の通販をしませんか？」というお誘いがGear-Lab誕生につながっていきます。次回につづく。

株式会社ギアラボ

〒813-0016 福岡市東区香椎浜2丁目5-2-701

Tel 092-663-5196

Fax 092-663-5102

Mail NQE50210@nifty.Com

このお気楽ニュースレターのバックナンバーはこちらです。

<http://www.gear-lab.com/newsletter/main.htm>

Gear-labホームページ

<http://www.gear-lab.com>

毎月の新製品に追われ、全国を旅しながら、モノづくりと販売のお手伝いをしています。

お気軽にメールください。面白い釣具があれば全国どこへでも参上します！一杯呑みましょう。(～.)

福山克義(ふくやまかつよし)

メール NQE50210@nifty.com

携帯 090-8406-9591



お気楽DETCHEこと福山でした